

報道関係者各位

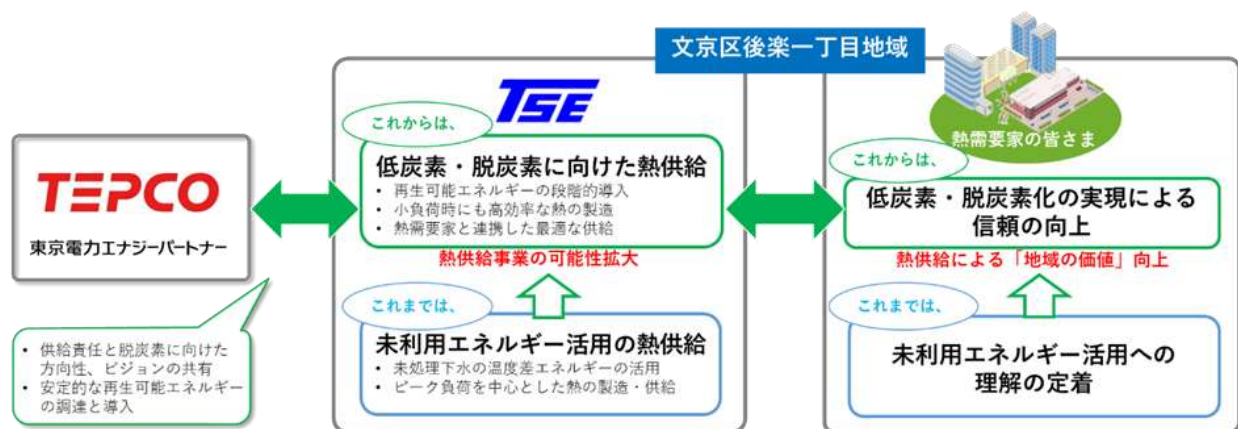
熱供給事業における再生可能エネルギーの導入について

—文京区後楽一丁目地域熱供給事業—

弊社(東京下水道エネルギー株式会社)は、本年4月1日より文京区後楽一丁目地域(別紙参照)において、現在活用している下水の熱に加えて、新たに全使用電力量のうち、約30%相当を東京電力エナジーパートナー株式会社が提供するFIT 非化石証書付電力メニューへ切替え、再生可能エネルギーの調達・導入による脱炭素熱供給への取組みを開始しますのでお知らせいたします。

弊社は、1992年の設立以来、都市の未利用エネルギーである未処理の下水の熱のみを熱源としている我が国唯一の熱供給・地域冷暖房事業を運営してきました。この実績に基づき、将来の脱炭素(カーボンニュートラル)熱供給の実現に向けて、熱需要家の皆さまと協力・連携を図りながら、「地域の価値」の向上を目指し、熱供給事業の可能性を追求することが重要との認識のもと、今回、再生可能エネルギー(環境価値付電力)を導入いたします。

■地域熱供給の将来ビジョンの具体例



この結果、代々木公園の面積の約1.4倍に相当する「森林創出」効果(年間660トンのCO₂排出量削減*)を見込んでいます。

今回の取り組みは、大気汚染防止として始まり省エネやエネルギーの高効率化による環境保全、温暖化防止に貢献してきた熱供給・地冷事業者が、エネルギー事業者と熱需要家の皆さまとの「結節点」として脱炭素化の裾野を広げていく役割を担うもの、と考えています。弊社としましては、熱需要家の皆さまはじめ関係者のご理解とご協力を得ながら、今後とも積極的に熱供給・地冷事業に再生可能エネルギーの導入を進めてまいります。

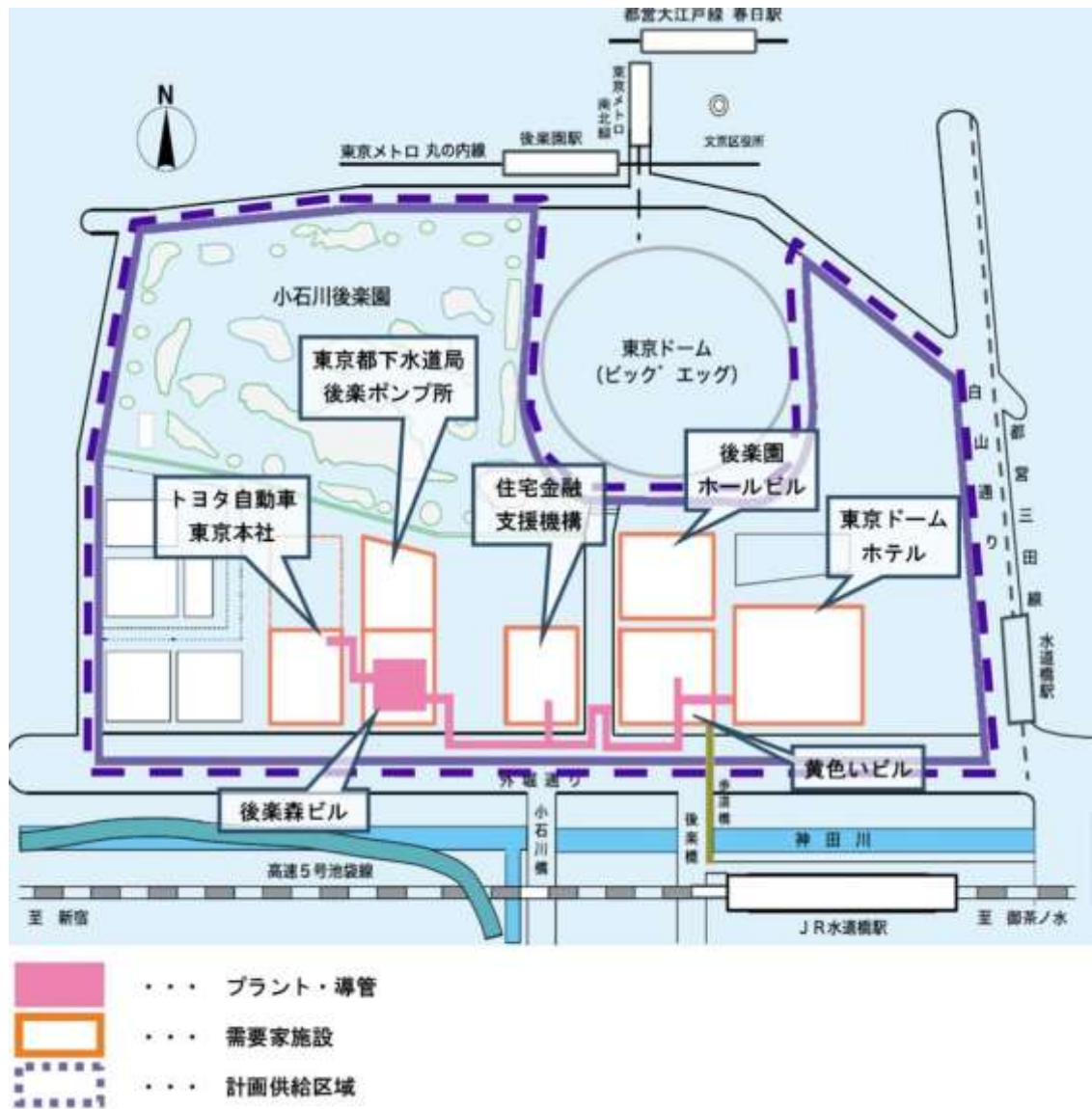
(*)杉林1haが1年間で吸収するCO₂を約8.8トン、代々木公園の面積を54haとして換算。

<お問合せ先>

東京下水道エネルギー株式会社
管理部 松永 技術部 森田
電話：03-5541-0700

(別紙)

1. 文京区後楽一丁目供給区域図



2. FIT 非化石証書付電力メニューの調達スキーム

